

地理分野 No.3

第2章 世界各地の人々の生活と環境

1. 世界のさまざまな生活と環境 (教科書 pp. 14-17)

○世界各地の市場をながめて

- ・教科書 pp.14-15 にある、市場の写真から、それぞれの地域の「衣・食・住」について注目し、その地域の環境や人々の生活について学んでいきましょう。

○世界のさまざまな気候

- ・世界の気候帯は五つの気候帯に分けられ…
- ・ [] : 赤道付近で一年中暑く、降水量が多い地域の気候帯。
⇒ [] 気候 : 一年中多雨 / [] 気候 : 雨季・乾季で分かれる
- ・ [] : 雨がとても少ない地域の気候帯。
⇒ [] 気候 : 砂漠が広がる / [] : 背の低い草の草原
- ・ [] : 四季の変化がハッキリしており、温暖な地域の気候帯。
⇒ { [] 気候 : 冬と夏の気温差が大きく、年間降水量が高い
[] 気候 : 一年間の気温・雨量の差が少ない
[] 気候 : 夏は乾燥しており、冬は降水量が多くなる
- ・ [] : 短い夏と寒さが厳しい冬あり、針葉樹の森が広がる地域の気候帯。
- ・ [] : 一年中寒さが厳しく、樹木が育たない地域の気候帯。
⇒ [] 気候 : 夏はコケ類が育つ / 氷雪気候 : 一年中、氷と雪に覆われる

☆地域差はもちろんあるが、地球規模でざっくりと気候帯を見たとき、赤道を中心として南北対称に、下の図のように気候帯は分かれていく。図の空欄に当てはまる気候帯の名前を書き入れてみましょう。

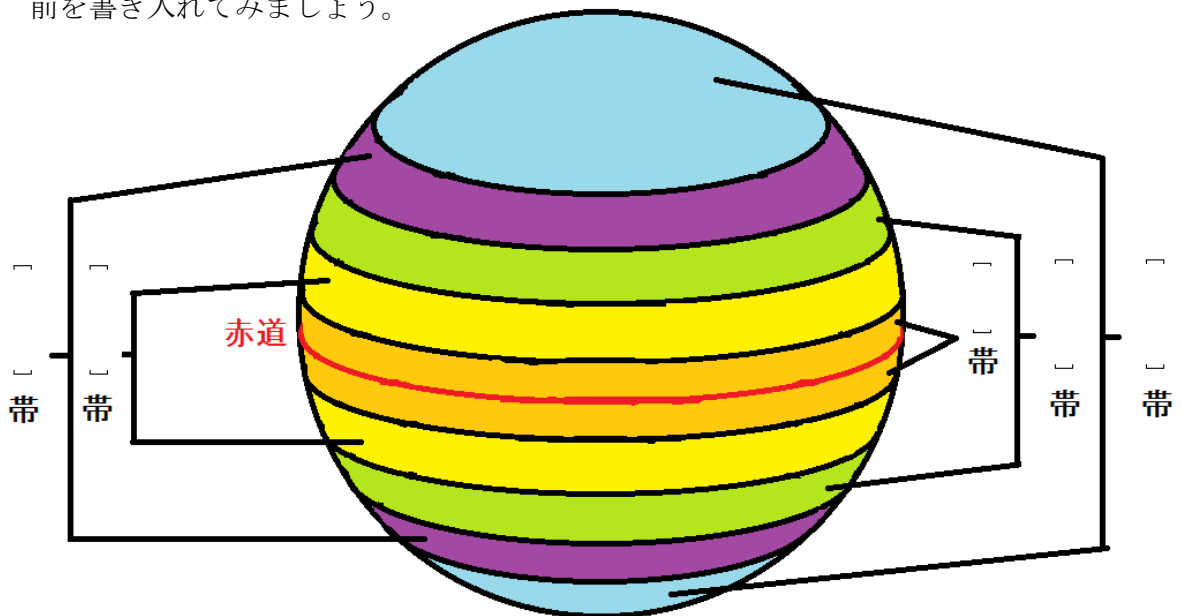


図 ケッペンの気候区分模式図

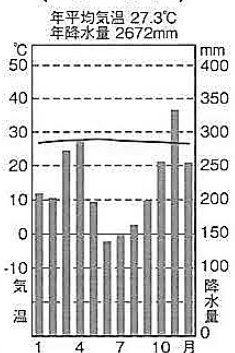
◇雨温図の読み取り方

☆このプリントの左側で学習した内容と、教科書 p.17 を参考に、以下の雨温図を読み取り、どの気候区分に当てはまるかを考えましょう。

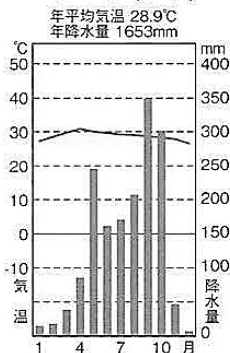
◎雨温図を考えたときに見るべきポイント

- ① 降水量を表す帯グラフや年間降水量について。 (雨量)
- ② 気温を表す折れ線グラフや年間平均気温について。 (温度)

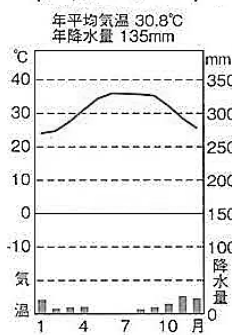
クアラルンプール
(マレーシア)



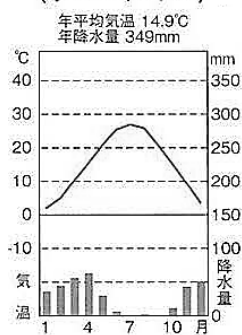
バンコク(タイ)



メッカ
(サウジアラビア)

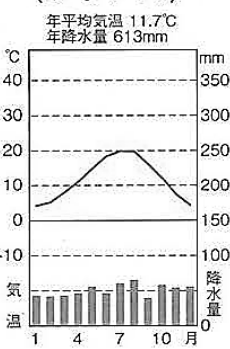


サマルカンド
(ウズベキスタン)

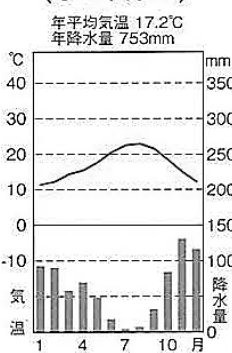


[] [] [] []

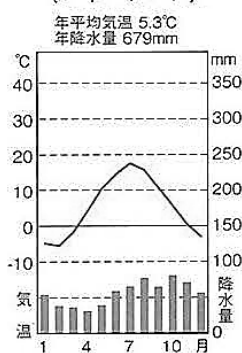
パリ
(フランス)



リスボン
(ポルトガル)

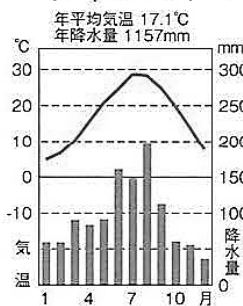


ヘルシンキ
(フィンランド)

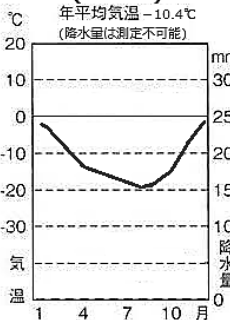


[] [] [] []

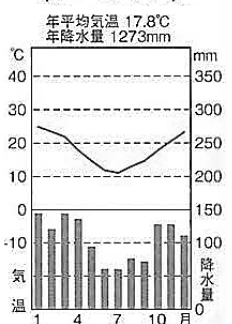
シャンハイ



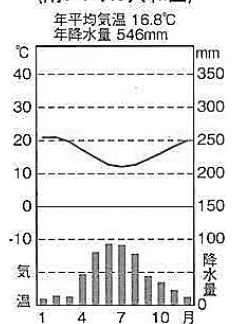
昭和基地
(南極)



ブエノスアイレス
(アルゼンチン)



ケープタウン
(南アフリカ共和国)



[] [] [] []

※最後の2つは応用編です。よく考えてみましょう。

地理分野 No.4

2. 暑い地域の暮らし ～インドネシアでの生活～ (教科書 pp. 18-19)

○インドネシアの位置と自然 ※地図帳で位置を確認してみましょう。

- ・赤道に近く、1年を通して気温が高い[]の地域が広がる。
- ・1日の天気は変わりやすく、[]という一時的な大雨が降る。
- ・動植物の種が豊富で貴重な野生動物もみられる。

○暑い地域での暮らし

- ・衣：「 」衣服を着ている。
- ・食：熱帯でよく育つキャッサバやタロイモ などの いも類や米が主食。
- ・住：一年中緑が生い茂る[]から材料を得て、木材を用いた家屋が多い。
また、「 」という理由から、高床式の家屋で生活している人が多い。

○外国人観光客の増加と生活の変化

- ・観光：観光地開発(飲食店・みやげもの店・ファストフード)の増加で生活の変化。
例) バリ島：観光地開発による熱帯林の減少 → 伝統的生活が困難

3. 乾燥した地域の暮らし ～アラビア半島での生活～ (教科書 pp. 20-21)

○アラビア半島の位置と自然 ※地図帳で位置を確認してみましょう。

- ・雨が少なく、草木がほとんど育たない乾燥帯の地域が広がる。
- ・広大な[]が広がっている。

○乾燥した地域での暮らし

- ・衣：「 」という理由から、長そで、たけの長いものを着ている。
- ・食：水が少なくても育つ小麦や なつめやし のような作物を、[]などによって栽培する。 → うす焼きパンのような料理。
乾燥に強い らくだ や羊を飼う[]も行われてきた。 → 肉料理。
- ・住：水が得られる場所が限られ、水が得やすい[]とよばれる場所の周辺に集まって生活している。
「 」という理由から、家屋には土をこねて作った日干しれんがを利用している。

○水をめぐる生活の変化

- ・地下水を汲み上げ、水を供給する施設の整備やスプリンクラーによる農業が増えた。
⇒ 生活様式の変化：オアシス外での生活や野菜などの栽培も可能になった。
地下水の枯渇が心配される。

4. 温暖な地域の暮らし ～スペインでの生活～（教科書 pp. 22-23）

○スペインの位置と自然 ※地図帳で位置を確認してみましょう。

- ・ユーラシア大陸西端のイベリア半島に位置し、大西洋と地中海に面している。
- ・一年中温暖な[]の地域にあり、夏に乾燥し、冬に雨が多く降る[]となっている。

○地中海性気候の下での暮らし

- ・食：乾燥に強いオリーブやオレンジなどのかんきつ類、ぶどうなどが栽培される。
- ・住：「 」という理由から、窓が小さく、壁も厚くつくられた家屋や、「 」という理由から、壁を石灰で白くぬった家屋もある。
- ・シエスタ：暑い夏の昼間などに、活動を避けるための休憩を2時間ほどとる習慣。

○伝統と現代の生活文化の共存

- ・現代の生活様式に合わせて、シエスタを廃止する動きもある。
- ・環境を活かして、太陽光パネルを用いた大規模な発電を行う企業などが増えてきた。

5. 寒い地域の暮らし ～シベリアでの生活～（教科書 pp. 24-25）

○シベリアの位置と自然 ※地図帳で位置を確認してみましょう。

- ・ユーラシア大陸の北部で、高緯度に位置し、短い夏がある[]が地域の大半を占めるが、オホーツク海沿岸のように更に寒く、一年中氷と雪に閉ざされた[]のような地域もある。また[]という凍った土が土地に広がっている。

○寒さが厳しい地域での暮らし

- ・衣：毛皮のコートや帽子など、保温性の高い衣服を防寒着として着ている。
- ・食：短い夏の間栽培した野菜を酢漬けにした保存食や寒さに強いライ麦が特徴的。
- ・住：「 」を防ぐという理由から、多くの家屋は高床式になっている。また、窓は2重、3重につくられ、壁も30cmをほどの厚みと、温水を使った暖房で室内を暖かく保っている。

○外国文化の流入と生活の変化

- ・航空機や鉄道のおかげで、スーパーマーケットには、冬でも多くの国製品の新鮮な野菜や果物が並ぶようになった。またアメリカのファストフードや日本料理店など、外国の食文化も入ってきている。
- ・日本や韓国からの家電製品や生活用品などが輸入され、生活が便利になっている。

6. 高地の暮らし ～アンデス山脈での生活～（教科書 pp. 26-27）

○アンデス山脈の位置と自然 ※地図帳で位置を確認してみましょう。

- ・赤道に近く、標高 4000m をこえる高地にも人々が生活している。
- ・年間の気温差はあまりないが、1日の気温は変わりやすく、昼と夜の差が大きい。
- ・同じ緯度であっても、標高ごとに気温が違う。

○高地での暮らし

- ・衣：「」から身を守るために、アルパカの毛でつくった衣服を重ね着して帽子を被って生活している。
- ・食：寒さに強い作物を育てているが、標高によって果物、とうもろこし、じゃがいもなど育てているものに違いがある。また、農業に不向きな標高の場所ではアルパカやリャマなどの「」を行っている。
- ・住：伝統的な家屋の壁は石や日干しれんが、屋根には が利用されている。

○現代化と観光化による生活の変化

- ・通信：インターネットや携帯電話などの普及で、通信網が発達し、遠方との連絡がとりやすくなった。また、海外の情報なども得やすくなった。
- ・観光：世界遺産のマチュピチュなどを見学するために世界中から観光客が訪れる。
→ 観光に関する仕事などに就く人が増加している。

☆番外編

低地の暮らし ～オランダでの生活～（資料集 p. 28）

○ポルダー（干拓地）のしくみ

- ・オランダは海拔 0m 以下の土地が広がる。これは、長い年月をかけて堤防を築き、遠浅の海を干拓して作った「」という干拓地で生活しているからである。
- ・干拓地は、牧草地や農地などとして使われている。

○低地での暮らし

- ・衣：湿地が多かったオランダでは、「」できるように、木ぐつが使われていた。
- ・食：酪農が盛んで、チーズの生産が重要な産業となっている。また、農業ではチューリップを育てる園芸農業も盛んに行われている。
- ・住：干拓地の上に立つ建物の中には、かたむかないように長い を地中深くまで埋め込んでいるものもある。

地理分野 No.5

7. 世界各地の衣食住とその変化 (教科書 pp. 28-29)

○世界各地で異なる衣食住

- ・生活している地域の環境に合わせて、「衣・食・住」に工夫がみられる。

◆[]

- ・暑い地域：吸湿性(木綿・麻など)が重要視される。
- ・寒い地域：保温性(毛皮など)が重要視される。

◆[]

- | | | |
|------|-----------|---------------------|
| 三大穀物 | ・米…………… | 雨が多い地域で栽培される。 |
| | ・小麦…………… | 雨が比較的少ない地域で栽培される。 |
| | ・とうもろこし… | 気温が低く、乾燥した地域で栽培される。 |
| | ・いも類…………… | 養分の少ない土地で栽培される。 |

◆[]

- ・地域ごとに手に入りやすい素材(木・草・土・石など)を用いる。
- ・環境に合わせて暮らしやすいように工夫(窓の大きさ、壁の厚さなど)をする。

○伝統的な生活様式の

- ・国際的な交流が増加することによって他地域の文化が生活に浸透し、それぞれの地域で定着している。
例)日本のパンやピザ、世界中で見られるジーンズ、コンクリート製の家屋など。
- ・冠婚葬祭における伝統的な衣装、特別な食事など、地域ならではの文化や伝統も受け継がれている。

8. 宗教と生活との関わり (教科書 pp. 30-31)

○生活や文化とかがわりが深い宗教

- ・さまざまな宗教が各地域で信仰されており、それぞれが、衣食住や生活習慣、季節的行事や祭り、生き方に影響を与える。

○世界に広がる三つの宗教

- | | |
|--------|--|
| 世界三大宗教 | ・[]…東南アジアから東アジアにかけて分布。
日本では、寺院、仏像、絵画、文学など文化の面に強い影響を与えた。 |
| | ・[]…ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニアに分布。
教会や十字架など多くが見られ、クリスマスなどの行事や西暦の利用などは、宗教をこえて世界的に世界各地の人々に大きな影響を与えている。 |
| | ・[]…西アジア・中央アジア・東南アジア・アフリカ北部に分布。
メッカを中心に信仰され、祈りの方法や衣服、食事などに細かい決まりがある。 |
| | ・その他の宗教：ヒンドゥー教(インド)、ユダヤ教、神道(日本)など様々にある。 |